

## 悠久の眠りからさめて ～もうひとつの縄文遺跡群～

知内町郷土資料館では、ふるさと再発見の旅「みなみ北海道の縄文ツアー」で参加者を募集し、大船遺跡や垣ノ島遺跡を見学、縄文文化交流センターでは国宝の「中空土偶」を鑑賞してきました。見学していた小学生が縄文土器を見て突然「知内でも見たことがある」と声を上げたそうです。

そうなんです。知内町郷土資料館には、町内の遺跡の発掘によって出土した旧石器時代から続縄文時代までの土器・石器・装身具などが展示されていて、約44万点の遺物が収蔵されています。特に昭和58年、湯の里4遺跡の発掘調査で旧石器時代（2万年程前）の墓と考えられる日本最古の土坑（土を掘って作った竪穴）が発見され、そこから副葬品（コハクや石製の小玉・垂飾・石刃・石刃核・細石刃など14点）が出土しています。これらは平成3年6月、国の重要文化財に指定されました。すごいですね。また、2階には「旧松前線」の資料や「知内劇場」で使用していた映写機、農機具や漁具、昭和30年代に使われていた家具や日用品等が展示されています。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界遺産に登録されてから、7月で1周年を迎えました。知内町の縄文遺跡は発掘して遺跡あとが残っていないため、世界遺産とはなりません。貴重な出土品がたくさんあります。

是非一度、ご家族そろってお越しください。そして、お子さんやお孫さんに当時の生活を話していただき、郷土に対する意識をより一層強くもっていただけることを期待します。

私が昭和53年に知内高校に赴任した時は、公民館として教育委員会が入っており、講堂ではたくさんの方々がここで手作り結婚式も挙げられていました。

（郷土資料館開館時間：10：00～16：30、休館日：月曜日・祝日の翌日）

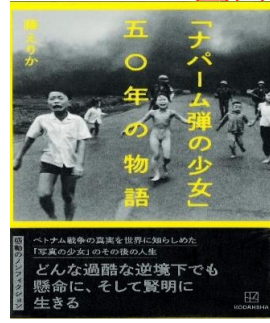
教育長 堂 下 則 昭



山本恭司 弾き語り・弾きまくり  
ギター三昧in知内を開催

令和4年8月30日(火)、エアロスミスやキッスなど多くの有名アーティストのツアーにも同行するVOWWOW(バウワウ)のギタリスト、山本恭司氏による町民芸術鑑賞事業「山本恭司 弾き語り・弾きまくりギター三昧in知内」を知内町中央公民館で開催しました。

ライブは、しっとりとしたアコースティックギターでの弾き語りや、エレキギターによるハードロックで会場内は盛り上がりました。来場者は、日本を代表するギタリストの演奏に酔いしれていました。



「ナパーム弾の少女」  
五〇年の物語／藤えりか  
ベトナム戦争の真実を世界に知らしめた「写真の少女」のその後の人生…。



「お別れです」  
ほどなく、お別れです  
思い出の箱／長月天音  
大切な人を亡くした方々に寄り添いたい



「財布は踊る」  
財布は踊る／原田ひ香  
月2万円の貯金。  
新しい洋服は買わず、食費を削り、節約を重ねても欲しいものがあつた…。



「お別れです」  
ほどなく、お別れです  
思い出の箱／長月天音  
大切な人を亡くした方々に寄り添いたい

第55回知内町民文化祭 作品出展者募集

※今年の文化祭は舞台部門を中止とし、展示部門のみ開催します。

開催日：10月22日(土)、23日(日)

開催場所：知内町中央公民館

【作品展示】

絵画・書道・菊花・盆栽・手芸・和裁・洋裁・陶芸・彫刻・版画・刻字・俳句・短歌・川柳・押し花・華道  
藤工芸・編物・革工芸・写真・木工品・ステンドグラスなどの手づくり作品を募集しています。

※なお、展示スペースには限りがありますので、展示希望者多数の場合は出展数を調整させていただきます。

第55回知内町民文化祭参加申込書

住所	知内町字	氏名	電話番号	
作品の種類		パネル	枚	テーブル
その他使用物				枚

9月20日(火)までに教育委員会事務室へ直接申し込むか、参加申込書をFAX(5-5072)または郵送してください。

※詳しくは、知内町教育委員会社会教育係へお問い合わせください。(TEL:5-6855)